

第4回 「小学生『夢をかなえる』作文全国コンクール」

優秀学校賞受賞校に聞く、公立小学校での取り組み

子どもたちの将来の夢の実現を支援する「小学生『夢をかなえる』作文全国コンクール」(主催特定非営利活動法人(NPO)法人日本ファイナンス・ヤル・プランナーズ協会(略称日本FP協会)、共催:日本教育新聞社、後援:金融庁・全国都道府県教育委員会連合会他)の入賞作品が決まった。4回目となる今回、全国から寄せられた作品総数は昨年を上回る1566点。団体応募も昨年比7校増の53校となった。厳正な審査の結果、個人賞として最優秀賞1名、優秀賞5名、奨励賞10名が学校賞として最優秀学校賞1校、優秀学校賞2校がそれぞれ選ばれた。今回は公立校として取り組み、優秀学校賞を受賞した神奈川県海老名市立大谷小学校と宮崎県小林市立小林小学校の担当教諭に、指導上の工夫などについてお話をうかがった。

優秀学校賞 神奈川県海老名市立大谷小学校

「今回受賞にいたった一番の理由は、クラス単位ではなく、6学年のすべてのクラス『学年単位』で取り組んだ結果だと思

います」指導にあたった6学年担任の後藤純子教諭と岩上克成教諭、小原瑠美教諭はこう声を揃えて振り返る。

位置づけは国語科と総合的な学習の時間。1学期に国語の説明文で学習した「述べ方」を、具体的



左から岩上、後藤、小原の6学年担当教諭のみなさん

堤さんの「ライフプランシート」		
姓名: 堤 千佳 (ちか) のライフプラン		
職業: 医師		
その理由: 人のケガをももたない		
学年(年齢)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なにを
2000年 (10歳)	Eastに飛んで、まっすぐに飛ぶ	体操着
2001年 (11歳)	中学校に向けて勉強する	
2002年 (12歳)	高校に向けて勉強する	しん代
2003年 (13歳)	お母さんに合わせて勉強する	
2004年 (14歳)	夢をかなえるために勉強する	英検を合格
2005年 (15歳)	大学受験に向けて勉強する	しん代
2006年 (16歳)	体力作り忘れなさい!	
2007年 (17歳)	大学受験	大学受験
2008年 (18歳)	大学受験	大学受験
2009年 (19歳)	大学受験	大学受験
2010年 (20歳)	大学受験	大学受験
2011年 (21歳)	英語を勉強する	英語を勉強する
2012年 (22歳)	英語を勉強する	英語を勉強する
2013年 (23歳)	英語を勉強する	英語を勉強する
2014年 (24歳)	英語を勉強する	英語を勉強する
2015年 (25歳)	英語を勉強する	英語を勉強する
2016年 (26歳)	英語を勉強する	英語を勉強する

「『夢をかなえる』って思えるようにになりました」長導の向上も図れます。また作成については夏休み前だったの

優秀学校賞 宮崎県小林市立小林小学校

「本校児童の人気の本は『夢をかなえるひみつ』」応募しました」小林小学校で指導にあたった図書担当の永野さとし教諭は、応募の理由についてこう話す。

「私の将来の夢」
東京都 筑波大学附属小学校5年 堤 千佳

私は父と同じ医師になりたい。身近な仕事でもあるが、幼い頃のケガの経験が大きく影響している。転んで、前歯が下あごを突き抜けた時、跡が残らないようにきれいにぬつてもらった。ドキドキした心もツルツときれいになった。そんな風に私もケガをした人のケガも心も元気にしてあげたい、私にもできるのではないかな?とあこがれ出した。

医学は、色々な学問のおかげで成り立っている、医師は一人だけでなくチームを組んで向き合うんだと父母は言う。それは、私が今学んでいる学校の運動会のような。何でも夢につながる、がんばらなくっちゃ!!

そこで、なるために必要なものを考えた。まずは、体力と勇気、だれでも話せる力!!それだけは自信が

「私の将来の夢」
「ソアープランナー」
「わたしの看護師への夢」
「好きなことを仕事にする」
「地方から世界へ」
「私の将来の夢」

「大切な命」
「心に残る作品を作り上げるために」
「僕が描く未来の設計」
「ぼくの夢」
「未来に向かって」
「将来の夢のために」
「私の将来の夢」
「ぼくのゆめ」
「ぼくの将来の夢」
「わたしのしょう来の夢・ちようせん」

次は能力、これは頭が痛い…。算数が苦手、問題をしっかりと読まないでボカをやらかす時がある。薬剤師の母には「ケタの間ちがいで人は死ぬこともあるのよ」っておこられる。それは大変だ!!!

あとは、体験。実際に体験してみても、自分の心を確かめている。今年の夏は、旅行先で解剖学博物館に行ったり、大病院の子供向け企画に参加して、胃カメラの操作も体験した。重いカメラを二時間以上持つて、立ちっ放しで手術をする。左手も足も辛かったけれど、なりたいたい気持ちは強くなった。

そして、費用。この本を読んで、シートに書く、こんなにも必要なおどろいた。

今まで気づけなかった二面だ。父と母には長生きしてもらわないと、そして私も無駄なお金の使い方をしないようにしないと、と反省した。思いは強いけど、私の考えは甘く、自分には知らないことがたくさんあると知ることは大切だ。コッコツと机に向かって中二の姉を見習って、自分の好きな道を歩んでいきたい。